

令和3年度 事業者向け自己評価表 アンケート（職員用）結果

事業所名：放課後等デイサービス リバーサイド結ぶる

| 項目 | 番号 | チェック項目 | 工夫している点・改善目標など |
|----------|--|---|--|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員と指導訓練室等スペースとの関係は適切であるか | 概ねスペースの確保は出来ている。個別対応時には、別室を利用したり、パーティション等の仕切りを活用し、密になる事を避けるよう配慮している。 |
| | 2 | 職員の配置は適切であるか | 適切に配置されているが、送迎時やスタッフの急な休み等で、対応が困難な時がある。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 適切になされている。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるための、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | 特に時間を設けて、ミーティングをする時間がないが、スタッフ間で日頃より業務の分担をして、お互いにサポートし合っている。 |
| | 5 | 保護者等向け評価表の活用等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | アンケートのみに限らず、日々の連絡帳や電話相談、家庭訪問、関係機関との連携を図り、業務改善に努めている。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 公開している。 |
| | 7 | 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか | コロナ感染の影響により、外部研修への参加が難しいため、事業所内研修を実施したり、研修ツールの活用をしている。 |
| 適切な支援の提供 | 8 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 保護者との面談を定期的に行い、学校の情報・関係機関の情報を参考に作成している。 |
| | 9 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | している。 |
| | 10 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 担当者を中心に立案し、スタッフ間で話し合い、立案を行っている。 |
| | 11 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 個人の能力に応じて提供し、其々が楽しめるようなプログラムを心がけている。 |
| | 12 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 基本的に学習については個別に対応し、公園遊びや室内遊び・クッキング等、行事は集団で行うようにしている。 |
| | 13 | 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 支援開始前に、一日の流れ、スタッフ各自の役割を確認している。 |
| | 14 | 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 連絡帳、支援日誌を記入し、当日の支援について気付いたことを話し合っている。 |
| | 15 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 特に配慮した点等を支援日誌に記録し、大切だと感じた点について支援時間終了後や、翌日の朝礼で話し合いを行っている。 |
| 16 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | モニタリングの内容をスタッフ間で共有し、見直しの必要性について判断した場合は意見を出し合い、支援計画に反映している。 | |

| 項目 | 番号 | チェック項目 | 工夫している点・改善目標など |
|--------------|----|---|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 17 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 担当者会議は、基本的に児童発達支援管理責任者が出席し、その内容を他のスタッフに都度周知している。 |
| | 18 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等）、連絡調整（送迎時、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | 送迎時、保護者からの連絡、電話等で情報を共有し、必要に応じて学校訪問を行っている。 |
| | 19 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、こどもの主治医等との連絡体制を整えているか | 重症心身の児童は若干名いるが、医療ケアの必要はない。 |
| | 20 | 就学時に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 保護者との情報共有を密にし、契約前に必要に応じて保育園や幼稚園での様子を確認し把握している。 |
| | 21 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | しています。 |
| | 22 | (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか | しています。 |
| | 23 | 日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 連絡帳、電話、家庭訪問等で、しっかり連携を行っている。 |
| | 24 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 行っている。 |
| 保護者への説明責任 | 25 | 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 契約時、必ず行っている。 |
| | 26 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 行っている。 |
| | 27 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等の開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | コロナの関係で保護者会の開催は難しいが、同じ学校に通っている保護者の間に入るなどして、連携の支援を行っている。 |
| | 28 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 希望や苦情については、必ずスタッフ間で周知し対応を行っている。 |
| | 29 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 毎月発行の利用要望書にて、イベントや活動の現状を報告している。 |
| | 30 | 個人情報に十分注意しているか | 鍵付きのロッカーで一括保管している。 |
| | 31 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮はしているか | している。 |
| 非常時等の対応 | 32 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 定期的に策定を行い、周知している。 |
| | 33 | 非常災害時の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 年に2回以上実施しているが、利用者を一斉に集めての訓練は難しい。 |
| | 34 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 事業所内研修を行い、適切な対応の為の話し合いを随時行っている。 |
| | 35 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 特に身体拘束が必要な可能性のある児童について、個別支援計画に必要な場合の対応を記し、説明を行っている。 |
| | 36 | 植物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 契約時に保護者に確認し、対象児童が利用する都度、スタッフ間で確認を行っている。 |
| | 37 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 記録を行い、事業所内で共有を行っている。 |